

伝わる技術報告書作成スキル習得講座 ～実践演習あり～



こんな方にお勧め

- ・技術業務内容をまとめた上で報告することが求められる**技術系社員の方**
- ・技術業務の内容をチーム内で共有し、技術的な戦略や方針を決める**技術チームの管理職の方**
- ・技術の蓄積や伝承の課題解決に向け、必要なスキル習得を目指される**技術系社員の方**

日時

2023年9月12日（火）

14：30から17：00（途中休息あり）

※講演後、希望者にて懇親会開催

主催

T.T彩たま株式会社

会場

ロイヤルパインズホテル浦和B1F
埼玉カンファレンスセンター

受講料

- ・T.T彩たま企業パートナー及び企業サポーター様：3,000円
- ・T.T彩たま後援会様、彩の国工業団地連携協議会正会員様：7,000円
- ・上記以外の企業様：10,000円

●申込方法

下記申込書をFAX又はQRコードよりお申込ください。
申込受領後、受講料のご請求書をお送りさせていただきます。
FAX:048-825-1030



受講申込書

会社名	フリガナ	業種	
氏名	フリガナ	TEL	
		メール	
法人住所		部署 役職	
備考		懇親会	<input type="checkbox"/> 参加する <input type="checkbox"/> 参加しない

■ **開催主旨** 製造業企業にとって至上命題ともいえる「**技術の蓄積と伝承**」。技術の伝承の重要性は多くの企業で認知されていますが、これを実現する必要条件は「**技術の蓄積**」です。この蓄積は、技術者が行った日々の技術業務に関する結果を、**技術報告書**としてまとめることで初めて実現できます。そしてこの技術報告書を作成する役割を担うのが**技術系社員**、いわゆる**技術者**になります。

しかしここで立ち足るの**技術者の多くが抱える課題**です。この課題を一言で表現すると「**整理して伝える力の不足**」になります。ソフトウェアを用いたデータ解析、特殊な設備の運転や点検、生産した製品の検査評価を含む品質管理等、**技術者は様々な職種で技術的専門性が求められる技術業務を推進する役割を担います**。これらの仕事の多くは**技術専門用語や技術理論を含むため難解になりがち**です。技術者は意識の有無に関わらず**技術的用語や知識によって自らの優位性を示す傾向があるため**、整理してわかりやすく伝えることは二の次になります。その結果として、**技術者の推進する技術業務に関連する報告はわかりにくくなりがち**なのです。自らの知見を第三者にわかりやすく伝えられなければ、**技術の蓄積と伝承は困難なもの**となります。

本セミナーでは受講対象者を**総合職系社員**ではなく、「**若手から中堅の技術者（技術系社員）**」に**特化**し、**技術業界を問わない技術者に必須のベーススキルの一つである「技術報告書作成スキル」の習得**を目指します。当該演習を通じて**技術情報をわかりやすくまとめ、技術報告書という活字で伝えるスキル**を身につけることで、**情報の整理と要点抽出ができるようになる**と期待されます。

演習は**技術的内容が前提**となりますが、**参加されるにあたり技術専門性は必要ありません**。自社の**技術者（技術系社員）の育成の一つとしてご活用**ください。

■ **本研修参加によって得られる知見**

- ・ 技術伝承や自社ノウハウ蓄積に向けて、**技術者が日々行う技術的業務の技術報告書作成方法**
- ・ **技術報告書の基本構成**
- ・ **演習を通じた自身の文章作成スキルと改善のポイント**
- ・ **技術報告書作成者と添削者が理解すべき留意点**

■ **留意事項**

- ・ 受講内容の理解を深めていただくため、**提供する演習課題に取り組んでいただきます**。
- ・ 講義中、**適宜講師から受講者の方に問いかけ**があります。まだ、**取り組んでいただいた課題を発表いただき、それに対する個別フィードバック**を行います。予めご了承ください。

■ **講演題目**

1. **技術系社員を雇用する製造業企業の課題**
2. **業界不問の技術者の普遍的スキルとは何か**
3. **普遍的スキルの一つである技術文章作成力**
4. **技術報告書について理解すべきこと**
5. **技術報告書の基本構成**
6. **技術報告書の作成【演習】**



技術の蓄積と伝承は**技術報告書**によって可能になる

■ **講師紹介**

FRP Consultant 株式会社代表取締役、技術者育成研究所代表、福井大学非常勤講師

吉田 州一郎

航空機業界において、国内外の複数企業を統括して研究開発と量産立ち上げのプロジェクトを10年以上にわたり**技術者として主導**。創業後は、**繊維強化プラスチック（FRP）に関連する指導や支援**を企業に行いながら自らの**技術専門性の鍛錬**を継続する一方、**技術業界に依存しない製造業の技術者に特化した技術者育成事業**を法人向けに展開。**繊維、機械、化学、医療等の異なる技術領域の企業の研究開発や製造現場での技術者育成の指導、支援**を行っている。東京工業大学工学部卒業後、ドイツFraunhofer Instituteでのインターンを経て、同大学院修士課程修了。月刊技術誌「**機械設計（日刊工業新聞社）**」で**技術者育成に関する記事**を連載中。主な著書に「**技術報告書**」書き方の鉄則 **独り立ちを目指す技術者の盲点**等。

HP : www.engineer-development.jp